

事業名：広野町における未利用資源の探索と資源化 みかんプロジェクト

福島工業高等専門学校 連携市町村：広野町

現地拠点：双葉郡広野町下北迫大谷地原65-3 ニツ沼公園パークギャラリー内 福島高専 地域復興支援室広野オフィス

事業のポイント

本事業では、イノベーション人材として、地域の活性化提案をする人、そのような取り組みを理解したり支援する人と定義し、さまざまな取り組みに参加しやすい環境や意識を醸成して行く取り組みであること。目的の達成のために、教育、農業、環境の3分野で活動を展開し、小学生から高校生、その保護者、農業関係者、町内の方々へ向けて、微生物の探索、農産廃棄物などの資源化検討、農業分野での省エネルギーなど提案し、ニツ沼総合公園や学校など広野町内で活動を展開する事業である。

人材育成目標

・地域の活性化や取り組みを提案できる人、その活動を理解できる人、支援できる人をイノベーション人材と定義し、さまざまな取り組みに参加しやすい環境作り、科学や技術への興味、関心を持てる雰囲気や意識の醸成に取り組む。

2022年度の活動内容

- ・有用微生物の探索 ひろの花マップの作成 季節を彩る花に注目して、微生物のサンプリングを行って、微生物と花の情報を地図上に記録する。
- ・放課後理科教室 広野小学校などで微生物の特別講義と実習を行い、身近な微生物の存在の確認と微生物の採取をみかんの丘で実施する。培養、単離、遺伝子解析は福島高専で行う。
- ・施設園芸農業支援 バナナ栽培における省エネルギー（地中熱の利用、温室の特性改善）、廃棄物の資源化と循環利用、バナナ苗生産に取り組む。

取り組みによって得られる成果

- ・町民参加型の有用微生物探索活動による町由来微生物の産業利用、特産品の開発、雇用施設園芸農業の効率化、バナナ栽培の持続性向上、ニツ沼総合公園での学習
- ・科学と技術による「広野町の再発見と新しい評価」の提案

福島高専
広野町

教育

町立小学校・児童館
復興知広野町分科会
町立広野中学校
県立ふたば未来学園

環境

微生物探索と産業利用
農産廃棄物の資源化
特性把握、工業利用
(地域企業との連携)

農業

地中熱利用
産総研 (FREA) ふくしまLLP
広野町振興公社
復興農学会
施設園芸の支援・省エネ・見える化・評価

本事業の広がり



食べないみかん狩り(微生物採取)の様子



児童館で実験教室



広野由来酵母によるパン